

地域の子どもたちの健やかな成長を願って

けんもり 特別支援教育だより

岡山県健康の森学園支援学校

編集
けんもり支援センター
相談・研修支援部（教育支援係）
第2号

平成30年8月27日発行

「一人一人の生活の充実を目指して」 ～寄宿舎の取組～

今年の春、けんもりの寄宿舎は新たに12名の児童生徒が入舎しました。初めての学校で、初めて親元を離れ、初めて身の回りのことを自分ですることになり、帰りたくて涙が出る子や、初めてのことが苦手で不安で動けなくなる子もいました。現在は、だんだん寄宿舎にも慣れ、自分なりの生活ができるようになってきたところです。寄宿舎のいいところをまとめると下の図のようになります。

寄宿舎は小学1年生から高校3年生まで43名の児童生徒が、縦割りの部屋割りで生活しています。年少の子は先輩を見習い、大きい子は年少の子を手伝いながら、みんなで和気あいあいと寄宿舎での生活を楽しんでいます。

朝は鳥のさえずりで目覚め、夕方には虫の鳴き声が響き、夜には満天の星空が広がる豊かな自然の中、舎生たちが落ち着いて生活できるように、寄宿舎と学校・家庭が、しっかりと連携しながら、支援・指導を行っています。

水曜日運営

毎週水曜日は、13時15分が下校時刻です。下校後には寄宿舎が活動を計画します。季節の行事や生活の指導、スポーツ大会、自由に過ごす日など、いろいろなことを行っています。

また、毎週水曜日はおやつの日でもあります。



おやつの日

季節感あふれるおやつをみんなで食べます。特に昨年度からは、「かみかみおやつ」として、酢昆布やめざしなど噛み応えがあるおやつが登場し、寄宿舎生の噛む力を鍛えるように取り組んでいます。

けんもりの寄宿舎の☆☆☆☆☆「いいね」

- 環境** がいい 豊かな自然 夏は涼しい
- 人** がいい 若くて元気で仲がよい チーム一丸 様々な経歴 アットホームな雰囲気
- 設備** がいい 学校と近い（建物） 社会福祉法人施設併設（将来のモデル）
- おまけに** がいい のんびり 人数がほどほど 空気もご飯もおいしい

なによりも **笑顔・元気**

寄宿舎で伸びる力

キャリア教育の視点から、寄宿舎では生活の**自立**と**余暇**の充実に取り組んでいます。

「自立」する力を育てる

○日常生活の共通理解

生活の自立を目指す中で、寄宿舎としても同じように生活の力を育てるために、「日常生活の共通理解」という冊子を作成し、挨拶、歯磨き、入浴、衣類の選び方、洗濯物の干し方やたたみ方などの生活



に必要な活動について、説明しています。この冊子を利用して小学部・中学部・高等部と寄宿舎が連携して一貫した支援を行っています。

○トークタイム

寄宿舎の時間に、普段落ち着いて話ができない学部と先生と会話を楽しむ時間です。

○チャレンジデイ

起床から就寝まで、生活の内容や時間を自分で考え、自分で実行する体験をします。日頃みんなを見ながら生活していた人もこの日だけは自分で何をするかを決めながらの生活を体験します。

寄宿舎行事



寄宿舎フェスタをはじめ、毎月行事があります。舎生が実行委員になり、企画運営から評価反省まで行います。

【主な行事】 歓迎会・おしまい会・寄宿舎フェスタ・節分・スポーツ大会



「余暇」を楽しむ

○余暇活動の充実

集団生活の中で自分に合った時間の過ごし方が見つかるよう様々な体験を支援しています。

○ユアタイム

寄宿舎指導員を中心に、様々な先生が様々なジャンルで、自分の得意なことを寄宿舎の子どもたちに紹介し



て、ともに楽しむ企画です。グラウンドゴルフ、テニス、卓球、競技カルタ、オセロなど、盛りだくさんの計画が進行中です。

○ノーゲームデー

毎月「0」のつく日に電子ゲームをしない日を設け、ツイスターや将棋などスポーツやアナログなゲームを楽しんでいます。

○スポーツ

今年の寄宿舎は体を動かすことにも取り組んでいます。スポーツテストやスポーツ大会、ちょっとした運動コーナーなど、気楽に楽しく運動できるように工夫を重ねています。

